

平成23年度京都府ユニットケア施設研修 (施設管理者研修・ユニットリーダー研修) 実施要領

1 目的

本事業は、ユニットケア施設(ユニット型介護保険施設及び一部ユニット型介護保険施設、並びに準ユニットケア加算対象施設またはユニットケアを実施する介護保険施設をいう。(開設又は実施が確実な施設を含む。以下同じ。))の管理者及び職員に対し、ユニットケア(居宅に近い居住環境の下で、居宅における生活に近い日常の生活の中で行われる生活単位と介護単位とを一致させたケアをいう。以下同じ)に関する研修を実施することにより、ユニットケア施設が入居者又は利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、入居又は利用前の居宅における生活と入居又は利用後の生活が連続したものとなるように配慮しながら、入居者又は利用者が自立した日常生活を営むことを支援することを目的とする。

2 実施主体 京都府、京都府老人福祉施設協議会

3 施設管理者研修

(1) 研修対象者(約15名)

ユニットケア施設の管理者またはその予定者であって、以下のいずれかに該当する者。

- ① 既にユニットケア施設として開設している施設の管理者であって、本研修を受講していない者。(就任が確実な就任予定者を含む)
 - ② 平成23年度又は24年度に開設するユニットケア施設(既に京都府と協議を行っている等開設が確実)に管理者として勤務する予定の者。
- ※ ただし、受講者が4名に満たない場合は、本研修は実施しない。

(2) 研修内容等 別紙のとおり

(3) 研修期間等

講義・演習(3日間)＋フォローアップ研修(2日間)の全5日間とする。

① 講義・演習

- | | | | |
|-----|-------|----------|-----------------|
| 1日目 | 平成23年 | 9月21日(水) | 京都社会福祉会館階4階 |
| 2日目 | 平成23年 | 9月22日(木) | 京都社会福祉会館階4階 |
| 3日目 | 平成23年 | 9月23日(金) | キャンパスプラザ京都第2演習室 |

② フォローアップ研修

- ◆日時 平成24年1月24日(火)～25日(水)
- ◆会場 京都社会福祉会館階4F大会議室(詳細は11月頃に案内の予定)

4 ユニットリーダー研修

(1) 研修対象者（約35名）

- ① ユニットケア施設に勤務している職員又は勤務する予定の職員であって、各ユニットにおいて指導的役割を担う者。
- ② 平成23年度又は24年度に開設するユニットケア施設（既に京都府と協議を行っている等開設が確実）に勤務する職員であって各ユニットにおいて指導的役割を担う者。

(2) 研修内容等 別紙の通り

(3) 研修期間等

講義・演習（3日間）＋施設実習（5日間）＋フォローアップ研修（2日間）の全10日間とする。

① 講義・演習

第1日目 平成23年 9月21日（水）京都社会福祉会館4階

第2日目 平成23年 9月22日（木）京都社会福祉会館4階

第3日目 平成23年10月11日（火）舞鶴市西駅交流センター（JR西舞鶴駅）

② 施設実習

- ◆日時 平成23年10月17日～平成23年11月18日の間に5日間。
- ◆実習施設 （追ってお知らせいたします）
- ◆スケジュール等
 - 期間内に上記の1施設で連続5日間分の実習とする。
 - 各施設の受入れ人数の関係で、実習日程を調整する。

③ フォローアップ研修

◆日時 平成24年1月24日（火）～1月25日（水）

◆会場 京都社会福祉会館階4F大会議室（詳細は11月頃に案内の予定）

5 修了証

研修の全科目を受講した者に対し、京都府知事の修了証を交付する。

6 留意事項

(1) 参加方法

- ① リーダー研修については、下記の研修修了者が現に管理者をしている、又は管理者（予定者含む）が本年度の管理者研修を受講する予定の施設を参加対象とする。
 - ア. 平成15～22年度の認知症介護研究・研修東京センターの管理者研修
 - イ. 平成23年度の社団法人日本ユニットケア推進センターの管理者研修
 - ウ. 平成15～20年度の京都府実施の管理者研修

- ② 原則として1施設から2名まで参加できることとするが、申込者が定員を超えた場合は調整する。2名申込みの施設は、申込書に優先順位を記載すること
- ③ 研修参加者は全日程に参加すること。

(2) 下記の課題提出が修了の要件となる。提出期限及び記入様式等は別途通知する。

- ① 研修開始前
 - ア. 事前提出課題①（リーダー）＋施設平面図
 - イ. 事前提出課題②（リーダー、受講管理者それぞれ）
 - ウ. 入居者体験レポート（リーダー、受講管理者それぞれ）

※上記ア・イは8/30提出、ウは9/21（研修当日）に提出
- ② 第3日目
 - ア. ユニットケア導入・運営計画書（管理者）9/23に作成
 - イ. ユニットケア導入・運営計画書（リーダー）10/11に提出
 - イ. 施設長とユニットリーダーの対話シート
（リーダーが参加している施設の管理者全員）
- ③ 施設実習
 - ア. 実習報告書（リーダー）
- ④ フォローアップ研修
 - ア. 導入・運営計画進捗状況（リーダー）
 - イ. 改善プロセスシート（リーダー）

(3) 本研修受講生への支援について（施設長等の皆様へのお願い）

本研修は、講義・演習（3日間）＋施設実習（5日間）＋フォローアップ研修（2日間）と約半年間をかけての長丁場の研修であることに加え、期間中、ユニットケア導入運営計画書の作成・実施・評価等、多くの課題に取り組んでいただく必要があり、受講生にとって大変厳しい内容となっています。

つきましては、各施設の施設長様をはじめ中間管理職等の皆様に以下の点にご留意いただき、受講生が本研修の中で貴施設の代表として主体的に取り組むを進めていくことができますよう、受講生への支援をお願い致します。

- ① 本研修に参加する目的について、事前に受講生に十分説明を行って下さい。
- ② 2日目修了後、3日目までの間に、必ず面談の機会をつくっていただき、研修内容の報告や貴施設におけるユニットケアの今後の取組の方向性などについて話し合ってください。それらの内容を「施設長とユニットリーダーの対話シート」として提出していただきます。
- ③ ユニットリーダーとともに「ユニットケア導入運営計画書」を作成してください。（リーダーが作成した計画を施設の計画として共有化し、実施にあたって、リーダーと管理者の役割分担を行ってください）
- ④ フォローアップ研修までに、「ユニットケア導入・運営計画書」の実施状況について、リーダーと評価する機会を作ってください。

以上、大変ご多忙とは思いますが、本研修の目的達成のためにご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

7 受講費用等

(1) 受講者は、研修資料費、施設実習費の一部として、受講決定通知後速やかに次の金額を指定の銀行口座に振込むこと。(受講料には研修期間中(ユニットリーダー研修の施設実習を除く)の昼食代を含んでいます。)

◆ユニットリーダー研修受講料	65,000円
◆管理者研修受講料	25,000円
◆懇親会参加費(1人)	5,000円

※懇親会(情報交換会)は研修1日目の9月21日の講義終了後に、京都国際ホテルで行う予定です。参加者の交流を促進し、本研修の演習をスムーズに進める観点から、特段の理由のない限り、ご参加いただきますようお願い致します。

(2) 研修テキストとして下記の書籍を使用する。それぞれの研修初日に受付にて販売するので、購入希望の方は、受講申込書に冊数を記入すること。

◆書名	改訂『利用者の生活を支えるユニットケア』
◆編集	認知症介護研究・研修東京センター
◆発行	中央法規出版
◆価格	2,940円(税込み)

(3) 研修会場への交通費、宿泊費は、受講者負担となります。施設実習期間の食費は、各実習施設に直接支払うこと。

(4) 本研修の参加に関して、宿泊施設の斡旋紹介は行いませんのでご了承下さい。

8 受講申込み

受講希望施設は、別紙申込書に必要事項を記入し、8月5日(金)までに、京都府老人福祉施設協議会事務局(Fax 075-802-4699)までファックスでお申込み下さい。受講要件を確認の上、受講決定を行い8月23日(火)に受講者に通知します。希望者多数の場合、受講をお断りする場合がございますのでご了承下さい。

9 問合せ

内容等に関するお問合せは、下記へお願いします。

- ◆ 齊藤裕三 特別養護老人ホーム神の園
(TEL:0774-94-4125 Email:kaminosono.sy.1965@jewel.ocn.ne.jp)
- ◆ 京都府老人福祉施設協議会 事務局
(TEL:075-802-4642 Email:furoukyo@mpd.biglobe.ne.jp)

(別紙)

【平成23年度 管理者研修】

月日	時間	講義科目	ねらい	講師
9月21日 (水)	9:30～ 開講式			京都府 府老協
	10:00～ 12:00 (120分) 講義・演習	ユニットケアの理念と意義 ～ユニットケア導入・実践 の課題～	個別ケアを推進する一手法であるユニット ケアの理念・意義について学ぶ。また、ユ ニットケア実践における工夫や課題につ いて学ぶ。	特養・老健・医療施設 ユニットケア研究会 代表 武田 和典氏
	13:00～ 16:30 (210分) 講義・演習	高齢者の生活とその環境	高齢者の生活を支える環境(居住)につ いて、家庭的・心理的に安定が得られる 環境の作り方について学ぶ。	近畿大学 建築学部 准教授 山口 健太郎氏
	16:30～ 17:40 (70分) 講義・演習	ユニットケアの導入・実践 における管理者の役割	ユニットケアの導入から現在までの経緯や 運営上の工夫及び課題等を振り返りなが ら、ユニットケア実践のための管理者の役 割について学ぶ	山口奈緒美氏 (はぎの里) 研修委員
	18:30～ 20:00	懇親会 (情報交換会)		
9月22日 (木)	09:00～ 11:00 (120分) 講義・演習	ユニットケア実践の課題と 工夫Ⅰ ～高齢者とその生活～	グループワークにより事前学習の入居者 体験を共有し、高齢者の身体的・精神的 状況と高齢者が望んでいる生活を理解す る。「もし自分だったら」という入所者側 の視点を持って、介護現場の現状と抱え ている課題を共有する。	特養・老健・医療施設 ユニットケア研究会 代表 武田 和典氏
	11:00～ 16:30 (270分) 講義・演習	ユニットケア実践の課題と 工夫Ⅱ	①自分の住まいと思えるような環境作り (ハード)②入居者の暮らしの継続と支 援方法(ソフト)③入居者の暮らしを支 える仕組み(システム)④管理者の役 割(体制の整備及び管理運営)とリ ーダーとの協同をテーマとして、実践事 例から、課題や具体的な導入・実践方法 を学ぶ。ポイントごとに話を展開し自施 設の悩みや課題を整理し、導入運営 計画が立案できるようにする	佐々木敦史 (山城ぬくもりの里) 松尾 隆昭氏 (神の園) 上垣 智彦氏 (五十鈴荘) 吉岡 年光氏 (いちがお園) 研修委員
9月23日 (金)	9:30～ 17:00 (330分) 演習	ユニットケア導入・運営計 画演習	自施設の運営計画を立てて、その計 画を各自発表し、あわせて他の施設の 工夫を理解する	特養・老健・医療施設 ユニットケア研究会 代表 武田 和典氏 研修委員

(別紙)

【平成23年度 ユニットリーダー研修】

月日	時間・形式	テーマ	ねらい	講師等
9月21日 (水)	9:30～	開講式 オリエンテーション		京都府 府老協
	10:00～ 12:00 (120分) 講義・演習	ユニットケアの理念と意義 ～ユニットケア導入・実践 の課題～	個別ケアを推進する一手法であるユニット ケアの理念・意義について学ぶ。また、ユ ニットケア実践における工夫や課題につ いて学ぶ。	特養・老健・医療施設 ユニットケア研究会 代表 武田 和典氏
	13:00～ 16:30 (210分) 講義・演習	高齢者の生活とその環境	高齢者の生活を支える環境(居住)につ いて、家庭的・心理的に安定が得られる 環境の作り方について学ぶ。	近畿大学 建築学部 准教授 山口 健太郎氏
	16:30～ 17:40 (70分) 講義・演習	ユニットケアの導入・実践 におけるリーダーの役割	ユニットケアの導入から現在までの経緯や 運営上の工夫及び課題等を振り返りなが ら、ユニットケア実践のためにリーダーとし て必要な知識、リーダーシップ、職員間の 連携等の方法について学ぶ。	山口奈緒美氏 (はぎの里) 研修委員
	18:30～ 20:00	懇親会 (情報交換会)		
9月22日 (木)	09:00～ 11:00 (120分) 講義・演習	ユニットケア実践の課題と 工夫Ⅰ ～高齢者とその生活～	グループワークにより事前学習の入居者 体験を共有し、高齢者の身体的・精神的 状況と高齢者が望んでいる生活を理解す る。「もし自分だったら」という入所者側の 視点を持って、介護現場の現状と抱えて いる課題を共有する。	特養・老健・医療施設 ユニットケア研究会 代表 武田 和典氏 佐々木敦史 (山城ぬくもりの里)
	11:00～ 16:30 (270分) 講義・演習	ユニットケア実践の課題と 工夫Ⅱ	①自分の住まいと思えるような環境作り (ハード)②入居者の暮らしの継続と支 援方法(ソフト)③入居者の暮らしを支 える仕組み(システム)をテーマとして、 実践事例から、課題や具体的な導入・実 践方法を学ぶ。ポイントごとに話を展開 し自施設の悩みや課題を整理し、導 入運営計画が立案できるようにする	松尾 隆昭氏 (神の園) 上垣 智彦氏 (五十鈴荘) 吉岡 年光氏 (いちがお園) 研修委員
10月11日 (火)	9:30～ 16:30 (360分) 演習	ユニットケア実践の課題と 工夫Ⅲ	自施設で作成したユニットケア導入運営 計画書について、グループ討議を行い、 課題や工夫等について検討する。	特養・老健・医療施設 ユニットケア研究会 代表 武田 和典氏 研修委員